



京都市 紅葉

臨床検査 日和

臨床検査日和 第40号 2025年 11月

乳腺センターのご紹介

乳腺センターでは乳癌検診や乳腺疾患の診断、治療を行っています。医師をはじめ臨床検査技師、看護師、薬剤師、診療放射線技師、診療アシスタント、医局秘書等多職種で患者さんに関わっています。臨床検査技師は超音波検査を行っており、乳腺の異常を見つけるだけでなく、針生検、薬物療法の治療効果判定、術前マーキング等色々な場面で患者さんと接しています。

☆☆Topics☆☆



毎年10月には日曜乳癌検診を実施しています。
詳しくは当院ホームページでご確認ください♪

ブレスト・アウェアネスのすすめ Brest Cancer Awareness

「ブレスト・アウェアネス」 って何？

ブレスト・アウェアネスは、乳房を意識する生活習慣です。
具体的には、日ごろの生活の中で次の4つを行いましょ。

ブレスト・アウェアネスの 4つのポイント

1. 自分の乳房の状態を知る
2. 乳房の変化に気をつける
3. 変化に気が付いたらすぐ医師に相談する
4. 40歳になったら2年に1回乳がん検診を受ける



1 自分の乳房の状態を知る

日頃から「自分の乳房の状態を知る」ことがまずブレスト・アウェアネスの第一歩です。入浴やシャワーの時、着替えの時、ちょっとした機会に自分の乳房を見て、触って、感じてみましょう。入浴の際に、石鹸を付けて撫で洗うのもいいでしょう。

2 乳房の変化に気をつける

普段の自分の乳房の状態を知ること、初めて、変化に気が付きます。しこりを探す(自己触診)という行為や意識は必要ありません。「いつもと変わりがなかな」という気持ちで取り組みましょう。変化として注意するポイントは
✓ 乳房のしこり
✓ 乳房の皮膚のくぼみや引きつれ
✓ 乳頭からの分泌物
✓ 乳頭や乳輪のびらん
などです。

3 変化に気が付いたら すぐ医師に相談する

しこりや引き連れなどの変化に気が付いたら、次の検診を待つことなく病院やクリニックなどの医療機関を受診しましょう。大丈夫だろうと安易に自己判断することなく専門医の診察を受けましょう。

4 40歳になったら、2年に1回 乳がん検診を受ける

乳がん検診の目的は、乳がんでなくなる女性を減らすことです。現在厚生労働省が推奨している乳がん検診(マンモグラフィ)は「死亡率を減少させることが科学的に証明された」有効な検診です。40歳以上の女性は、2年に1回、定期的に検診を受けましょう。また、「異常あり」いう結果を受け取った場合には必ず精密検査を受けるようにしましょう。

新しい治療 経皮的ラジオ波焼灼療法 (radiofrequency ablation therapy:RFA)



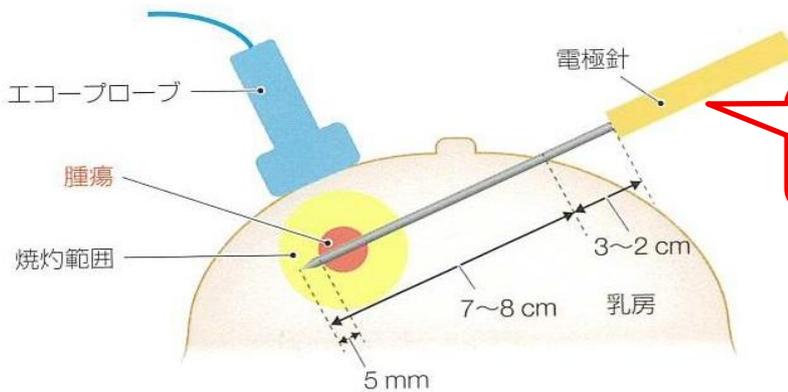
乳癌は乳腺にできる悪性腫瘍で、早期でも手術による切除が標準治療です。

早期乳癌に対して「**切らない乳癌治療**」として経皮的ラジオ波焼灼療法(RFA)があり

2023年12月に保険適応となりました。

当院も日本乳癌学会の承認施設となり2025年度より治療が開始されています。

乳癌に対するRFAは乳房の手術と同様に手術室にて全身麻酔で行います。



手術中に超音波で計測しながら
針を進めます



超音波装置で確認しながらRFA用の針を腫瘍の中心まで進め熱を加えていき、癌細胞が壊死するとされる70℃以上まで温度が上昇したことを確認して針を抜きます。通常、熱を加える時間は30分以内です。

RFAの対象となる条件として、術前画像検査(造影MRI、超音波検査等)で長径1.5cm以下、腋窩リンパ節転移、遠隔転移がない限局性早期乳癌など一部の早期乳癌での治療を目的としています。

上記以外にも適応条件があります。詳しくは乳腺センタースタッフにお尋ねください。

検査技師のおしゃべり♪

眼鏡

コロナ禍以来遠出をすることがなくなっていたが、やっと昨年末に何となく車で出かけてみることに。気ままに運転しつつ、どこに行こうかと思っているときに信号の文字がよく見えないことに気が付いた。普段も運転はするが、知った場所ばかりでまったく気にも留めてなかった。何となく度があってないなどは思いつつも生活に支障がなかった。早速、眼鏡を更新することにした。新しい眼鏡で車に乗ってみるとよく見える。が、ひとつ気になることが。店員さんにも言われていたのだが、今度は、手元の文字が見づらい。視力の経年劣化の影響と思われるのだが、眼鏡を外せばいつものところ支障はない。今後は2本を使い分けていくか、両用にするか。まだ、今は、考えたくない…。ひとまずは、車で遠出を試みようかな。



生理検査室 長野

